

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	環境変遷学		
科目基礎情報							
科目番号	6007		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	機械システム工学コース		対象学年	専1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	木村 和雄						
到達目標							
新製品企画から製造実行迄の過程で必要となる知識として①～③に示す項目に関する項目を習得する。 ①生産の基本要素と、生産システムの形態、生産方法を理解できる。 ②経営方針に沿って、製品を生産する計画を立案するまでの流れを理解できる。 ③製品の生産計画の立案から、生産実行までの流れを理解できる。 【Ⅳ】工学基礎：工学リテラシーの1つとして上記知識を有し、自らの工学の分野に応用できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1 生産の基本要素と生産システムの形態や生産方法を理解できる。 (A-1,A-4,B-1)	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、90%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、70%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、60%の得点に到達しない。				
評価項目2 経営方針に沿って、製品を生産する計画を立案するまでの流れを理解できる。(A-1,A-3, A-4,B-1,B-2,B-3)	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、90%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、70%の得点をあげることができる。	レポートの設問に対して、60%の得点に到達しない。				
評価項目3 製品の生産計画の立案から、生産実行までの流れを理解できる。 (A-1,A-3,A-4,B-1)	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、90%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、70%の得点をあげることができる。	レポートの設問に対して、60%の得点に到達しない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業では、製品を製造する際に立案する生産計画の手法を学習する。授業は講義形式で進める。課題と演習では、立案した生産計画の検証手段としてエクセルやシステムシミュレーションを活用する。立案した生産計画に対して、工場の運用を考慮した時に生産工場の中で起こる現象をシミュレーション結果から獲得し、分析することで生産計画問題の理解を深める。						
授業の進め方・方法	課題レポートとプログラミング演習の課題レポート、出席状況や講義中の取り組みの姿勢で評価する。課題レポートの得点を40%、プログラミング演習の課題レポートの得点を50%、学習への取り組みの姿勢を10%として成績を評価し、満点の60%以上の得点で単位を認定する。						
注意点	(JABEE関連共通記述) ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 (各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目はプログラミングⅠ(本科2年)、プログラミングⅡ(本科3年)、生産工学特論(専攻科1年)、経営工学(専攻科2年)である。 ・この科目の自学自習時間は38時間である。 (モデルコアカリキュラム) ・対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。 (学位審査基準の要件による分類・適用) 科目区分 専門科目③ A 機械工作・生産工学に関する科目						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
	8週						
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
16週							
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	態度		合計	
総合評価割合	0	0	90	10	0	0	100
基礎的能力	0	0	30	0	0	0	30
専門的能力	0	0	60	0	0	0	60

分野横断的能力	0	0	0	10	0	0	10
---------	---	---	---	----	---	---	----